

イベントや講座等を通して センターの魅力を発信

公益社団法人
草津市シルバー人材センター

(滋賀県)

草津市SCは、9～11月に女性限定イベントや健康講座、人権研修を行い、普及啓発や会員拡大を図った。イベントでは進行や会場設営を工夫し、新入会員獲得につなげた。またサークル活動も、センターのPR活動の一翼を担っている。センターでは市民への周知を徹底するなど、イベントや講座等により多くの人に参加してもらえよう、今後も工夫を重ねていきたいとしている。

女性限定イベントで 女性会員拡大に成功

草津市SCは、年間を通して、シルバー人材センター事業の普及啓発と会員拡大を目的に、さまざまな催しを実施している。

令和7年度のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間とその前後にも、毎年恒例の「女性限定イベント」や講座、研修などを開催・実施した。

その結果、令和7年11月時点で、会員数(男女計)は前年同期期と比較して約5・5%増(672人から709人)となり、女性会員は約13・2%も増加(242人から274人)した。

効果が大きかったのが、女性限定イベントである。令和7年度は9月17日13時30分から、JR草津駅近くの草津市立市民総合交流センター(キラリエ草津)で開催された。

女性限定イベントは、セミナーと「お仕事説明会」の2部で構成され、セミナーの内容は毎年変わる。令和7年度は「オーラルフレイル予防セミナー」を実施した。

このイベントの企画・運営は、理事と地域班長5人で構成される会員拡大委員会が担う。同委員会の役割は、会員拡充に向けた取り組みを積極的に進めることである。セミナーのテーマをオーラルフレイル予防に決めたのは、口腔ケア

に関心を持つ女性が多く、イベントに多くの参加者が見込めると女性の委員から意見があつたからだ。職員の高澤知加さんは「役員・班長29人のうち、約4分の1の7人が女性会員です。セミナーのテーマやチラシの内容について女性の視点を取り入れています」と話す。

イベント当日は一般市民のほか、会員が友人を誘って参加した。イベント前半のオーラルフレイル予防セミナーでは、講師として草津市役所長寿生きがい課から歯科衛生士を招いた。

セミナーでは、息を吹くと紙が伸び、吹くのをやめるとくるくると紙が戻ってくる笛「吹き戻し」を活用した口腔機能訓練の仕方や、

唾液の分泌を促すといわれるつば、正しい歯の磨き方を教わった。

令和6年度の女性限定イベントでは、「セミナーと」お仕事説明会」の間に休憩時間を挟んでいた。そのため、セミナーが終わると説明会に参加せずに帰ってしまう人が多かった。そこで今回は、説明会に参加してもらえよう工夫をし

たという。セミナーが終わってもすぐには休憩に入らず、センターが独自に制作したシルバー事業の紹介動画を数分間上映してから、

休憩時間を設けることにしたのだ。動画の上映後は「休憩後は会員がセンターになぜ入ったのか、今どんな仕事をしているのかをお話します。お楽しみに！」とアナウンスをし、参加者に説明会について興味を持ってもらえるようにした。また、休憩時間を持て余さないよう、サークルで製作した作品をイベント会場に並べたり、募集中の仕事の掲示したりするなどのアイデアを会場設営に盛り込んだ。すると、参加者の大半が説明会にも参加し、入会につながった。

中川康子理事長は「参加者に、センターが仕事紹介を行うだけでなく、サークルなどで仲間づくりもできる場であることが伝わり、センターに対するイメージも変わったようです」と新しい試みについて評価する。



女性限定イベントでは、オーラルフレイル予防セミナーを実施した

健康講座と人権研修で 学びを深める

令和7年10月8日には、センター事務所会議室で13時30分から、健康講座「脳を元気に！認知症を予防しよう」を開催した。

健康講座は例年、普及啓発と会員の健康増進を目的として、事業

運営委員会の企画・運営により開催されている。同委員会は理事と地域班長5人で構成され、組織体制の確立と円滑な事業運営に向けて、諸行事の企画や会員の満足度調査などを行っている。

今回の健康講座は「脳の健康教室」を展開している株式会社公文教育研究会の協力で開催された。



健康講座では、認知症や脳に関する基礎知識などを学んだ。講座終了後は茶話会を開催し、参加者同士の交流を図った(写真下)



サークル「エコクラブ」はイベントに参加し、会員による手作り作品の販売とセンターのPR活動を行っている

- かけて市内で開催された四つのイベントに参加。会員の手作り作品を販売するとともに、入会説明会の案内チラシやポケットティッシュを配布するなどしてPR活動を行った。参加したイベントの名称と開催日時、会場は次の通り。
 - エコライフフェア草津2025
令和7年10月12日10～14時
キラリエ草津
 - ふれあいフェス南笠東2025
令和7年10月26日9時30分～14時30分
南笠東まちづくりセンター
 - 第13回みななくまつり
令和7年11月16日10～15時30分
JR南草津駅西口近隣
 - オータムフェスティバル2025
令和7年11月23日10～15時
淡海医療センター
- 販売した作品は人気を呼び、作品を見てセンターに興味を持った人もいるという。古川事務局長は、エコクラブの活動は一定の効果を上げていると評価する。

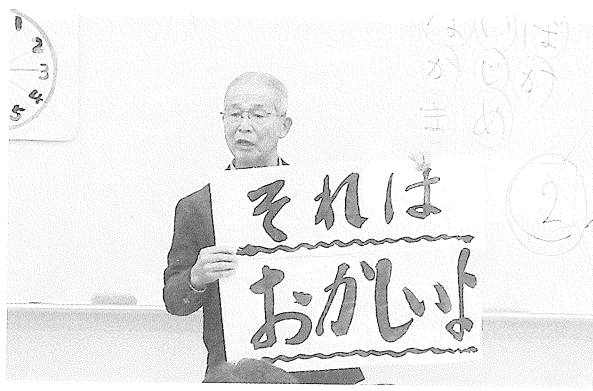
事業運営状況 (令和2年度～令和6年度)

年度	会員数			租入 会率 %	就業実人員 (延人員) 人 (人日)	就業 率 %	受注 件数 件	契約金額 千円	公民比 %
	男性	女性	全体						
令和2	451	220	671	1.8	555 (57,149)	82.7	1,355	241,543	8.0/92.0
3	458	220	678	1.8	576 (58,977)	85.0	1,416	253,333	8.5/91.5
4	457	238	695	1.8	588 (56,997)	84.6	1,468	251,968	8.9/91.1
5	459	250	710	1.9	594 (57,152)	83.7	1,444	272,401	8.9/91.1
6	449	262	711	1.8	566 (54,669)	79.6	1,324	271,911	8.7/91.3

※受注件数、就業実人員、契約金額は請負・委任と労働者派遣事業を合計した数値
 ※就業実人員は請負・委任と労働者派遣事業が対象 ※就業実人員は労働者派遣事業の教育訓練受講を含む
 ※令和5年度以降は性別未回答の会員がいるため、会員数の男女計と全体は必ずしも一致しない

「今後は講座や研修の充実を図るとともに、サークルにも協力してもらい、市民に向けてセンターの魅力を発信していきたいと考えています」と、古川事務局長は今後の展望を語った。
(井本句子)

人権研修のテーマは「他者を傷つけない言葉遣い」。日常生活における自身の言動について、考える機会となった



当日は、会員28人が参加。講座では、脳トレを体験したほか、認知症や脳に関する基礎知識などを学んだ。
 講座終了後は、初の試みとして茶話会を開催した。中川理事は「会員同士が顔を合わせる機会が少ないので、せっかく集まったこの機会に交流を深めてもらいたい

と思い、企画しました。参加者は皆楽しそうで、会話が盛り上がりつつありました」と振り返る。会場には、会員がサークルで制作した作品も展示された。
 令和7年10月29日には、人権研修を実施。14時からセンター事務所会議室で行われ、会員23人が参加した。人権研修も事業運営委員会の企画・運営により開催されており、テーマは毎年変わる。令和7年度のテーマは「他者を傷つけない言葉遣い」。
 古川久行常務理事兼事務局長は、このテーマを設定した理由を次のように話す。
 「例えば、移動手段がないときの『足がない』という言い方は、人を傷つける表現にもなり得ます。このような気を付けるべき言葉を学びたいと委員から要望があったのです」
 講師を務めた草津市同和教育啓発講師団の高木洋司氏は、普段何気なく使っている言葉が差別的な

表現につながる場合もあること、スイカ割りが目の不自由な人にとっては配慮に欠ける行為ともいえることなどを挙げて話した。研修は、高木氏のハーモニカ演奏に合わせて、参加者で「故郷」を合唱して締めくくられた。
市民向けの周知方法が課題に
 イベントや講座、研修などの告知は、会員にはチラシやLINE公式アカウント、「Smile to Smile」などを活用して行っている。一般市民に向けては、以前は市の広報紙に案内チラシを挟み込んで周知していたが、チラシの挟み込みを希望する団体が増えたことにより、制限されるようになった。そのため現在は、新聞折り込みやセンターのホームページへの掲載、公共施設でのチラシ配置などで対応している。
 しかし、令和7年度の健康講座と人権研修では一般市民の参加がなく、周知活動の効果は見られな

かった。古川事務局長は「現在は、市民に情報を届けにくい状況にあります。次回開催に向けて、多くの人に参加してもらえよう周知方法の見直しを行いたいと考えています。また、どのような講座や研修に興味があるのかアンケートを行って、ニーズを探っていききたいと思います」と述べた。
イベント参加に特化したサークルが活発に活動
 センターのサークルの一つに「エコクラブ」がある。エコクラブは、古着的物を洋服などに作り替えるサークル「リフォームクラブ」と、小物作りを楽しむサークル「手芸クラブ」のメンバー14人で構成。イベント等での作品販売を目的に発足した。イベントへの参加申し込み等の手続きは事務局が行うが、出展準備やイベント当日の運営、売上金の配分などはエコクラブのメンバーが担う。
 令和7年度は、10月から11月に